

平成28年度 決算を認定

平成28年度一般会計歳入歳出決算ほか3特別会計歳入歳出決算については、議長・監査委員を除く全議員で構成される決算に関する特別委員会(委員長=並木一元、副委員長=松田智子)を設置しました。9月25日から審査を行い、いずれも認定することに決定しました。



▲委員長挨拶の様子

監査委員による決算審査の報告

平成28年度決算審査については、関係諸帳簿及び証拠書類との照合を行うとともに、関係職員から説明を聴取する等の方法により実施しました。

その結果、決算計数に誤りはなく正確であり、決算内容、予算の執行状況等も適正と認められましたので、その旨の審査意見を区長あてに提出いたしました。

区は、介護予防の強化や子育て環境の整備、防災・減災対策の推進等、区民の安全安心の更なる向上をはじめ、地域力の強化や連携、文化や経済の活性化等に迅速かつ積極的に取り組みました。

このような取り組みを踏まえ、極めて健全な財政運営に努めていると評価できます。しかしなが

ら、区財政の先行きは決して楽観視できないと考えております。

今後とも、歳入、歳出の両面から健全な財政運営に向けた取り組みを確実に推進するよう切望します。なお、平成28年度の新公会計制度導入により、より精緻な行政コストの把握が可能となりました。この利点を今後の行財政運営に大いに活用することを期待します。

以上、審査の結果を申し上げましたが、私ども監査委員は、その使命を重く受け止め、区民の信頼と期待に応えるべく引き続き、万全を期してまいります。議員及び理事者、職員のご理解とご協力をお願いし、報告とさせていただきます。

○9月会議で決議についての議案が可決されました。内容は以下のとおりです。

北朝鮮の弾道ミサイル発射及び核実験に対する抗議決議

8月29日、北朝鮮が日本上空を通過する形で弾道ミサイルを発射した。

また、9月3日には6度目となる核実験を実施したと発表した。

我が国並びに国際社会が、北朝鮮に対し再三にわたり強く自制を求めていたにも関わらず、これらの行為が強行されたことは、我が国の安全のみならず、広く国際社会の平和と安定に対する重大な脅威であり、断じて容認できない。

今回の北朝鮮の挑発的行為は、一連の国際連合安全保障理事会決議に明確に違反するものである。

よって、荒川区議会は、北朝鮮に対し、この度の核実験等に厳重に抗議するとともに、北朝鮮が核兵器の開発を含め、あらゆる軍事的な挑発行為を放棄するよう強く求める。

以上、決議する。

平成29年9月12日

荒川区議会

平成28年度 決算の概要

		予算現額	歳入（収入率）	歳出（執行率）	歳入歳出 差引残高
一般会計		1,054億2,167万7,000円	1,002億2,474万397円 (95.1%)	977億4,057万9,849円 (92.7%)	24億8,416万548円
特別 会計	国民健康保険 事業	299億9,407万8,000円	288億9,863万5,297円 (96.3%)	286億56万2,856円 (95.4%)	2億9,807万2,441円
	後期高齢者 医療	45億1,800万円	43億8,752万8,690円 (97.1%)	43億3,762万2,512円 (96.0%)	4,990万6,178円
	介護保険 事業	170億787万8,000円	160億3,553万9,541円 (94.3%)	156億6,595万5,104円 (92.1%)	3億6,958万4,437円
計		1,569億4,163万3,000円	1,495億4,644万3,925円	1,463億4,472万321円	32億172万3,604円

平成28年度

荒川区主要施策の成果説明 （一部抜粋・要旨）

生涯健康都市

○高齢者生活支援ガイドブックの作成

地域包括ケアシステムや介護保険制度、福祉や生活支援サービスの紹介、地域の様々な生きがいづくりの事業や地域活動情報等、高齢者に役立つ様々な情報を網羅した冊子を作成し、広く高齢者に配布した。

子育て教育都市

○にこにこすくーるの拡大及び放課後子ども総合プランの本格実施

新たに7校において、にこにこすくーるを開設した。また、放課後子ども教室と学童クラブを併設している学校について、両事業を利用する児童が体験プログラムと一緒に参加できる「放課後子ども総合プラン」を本格実施した。

産業革新都市

○（仮称）日暮里地域活性化施設の整備

日暮里地域をさらに活性化させる様々な機能を融合させた施設の整備を行うべく、建物の設計に着手した。

環境先進都市

○あらかわりサイクルセンターの開設

ペットボトル等の中間処理の推進とともに、小中学校や町会等を対象とした施設見学会の実施や紙すき等を行う教室を開き、区民一人ひとりの「R」の意識の向上を図った。

文化創造都市

○ゆいの森あらかわの開館

平成29年3月26日に中央図書館、吉村昭記念文学館、ゆいの森子どもひろばを融合させた「ゆいの森あらかわ」を開館した。

安全安心都市

○公園への防犯カメラの設置

駅周辺や区境、通学路等に加え、全ての区立公園において防犯カメラを設置することにより、さらに安全な地域社会の実現に向けて取り組んだ。

計画推進のために

○荒川区職員ビジネスカレッジ

2年課程の「本科課程」、短期間での専門知識の取得を支援する「実務専門課程」、自宅での学習を支援する「通信教育支援コース」、管理職を対象とした大学院等、多彩なカリキュラムを実施した。

主な総括質疑

自民党 志村 博司 委員

- ・西川区政13年間の取り組みの評価と今後の決意について
- ・荒川区の地価上昇率が都内で1位であるという報道に対する感想について
- ・児童生徒数の推移を踏まえた学校規模の適正化、通学区域の見直しについて
- ・東京女子医大東医療センター移転計画に対するあらゆる事態を想定した準備について

自民党 町田 高 委員

- ・区での児童相談所設置に向けた人材確保、財源確保について
- ・住宅宿泊事業法に関する区の条例制定の必要性について
- ・旅館業法における簡易宿泊所等に関する規制について

公明党 保坂 正仁 委員

- ・区における近年の解体工事の件数と今後5年、10年先の解体工事の推移について
- ・仮称「中高層建築物等の解体工事に関する条例」の制定について
- ・公務員の65歳定年制導入の検討状況と総人件費に対する区の見解について

共産党 安部 キヨ子 委員

- ・子どもの貧困対策の柱の一つである就学援助入学金準備金の増額と前倒し支給について
- ・第7期荒川区高齢者プランでの特養ホームの増設やサービス付き高齢者住宅の誘致について
- ・東京女子医科大学東医療センターを中心とした医療訓練について

民進党 竹内 明浩 委員

- ・2020オリンピック・パラリンピックに向けた、これからの地域活動の担い手について

元気クラブ 斉藤 裕子 委員

- ・東京ビッグサイトの閉鎖と、ライドシェアによる「白タク規制解除」に対する都や国への対応

日本創新党 小坂 英二 委員

- ・人口密度全国三位の過密都市である荒川区には人口流入抑制策が必要。マンション建設抑制も。

改革の会 藤澤 志光 委員

- ・区直営でがん検診を行っている中、荒川区のがん死亡率が高いことについて

市民の会 瀬野 喜代 委員

- ・空家を活用した認知症カフェ、こどもの居場所事業への支援について



▲区長答弁の様子



▲委員会室の様子